

2025年度 とやま地域学

授業科目名	とやま地域学(「大学コンソーシアム富山」加盟大学共同授業科目)				
コーディネーター	富山国際大学現代社会学部 教授 助重 雄久				
授業の概要	北陸新幹線開業以来、富山県は多くのメディアに取り上げられ、国内外から注目されています。一方、少子高齢化により人口が100万人を割り込み、地域活力の低下が懸念されています。こうしたなかで、富山がもつ自然・歴史・文化などの地域資源を活かして、新時代に対応したライフスタイルを確立することが求められています。今年度の「とやま地域学」は、「富山のいまと未来を考える」「富山の伝統を未来に活かす」「富山の自然を守り、未来に活かす」「富山のまちの歴史を振り返る」の4つのテーマを設定し、それぞれの視点から富山の魅力を発見し、未来の富山の活力ある地域づくりについて考えます。				
キーワード	富山の自然	富山の産業	富山の生活	富山の歴史	富山の地域づくり
到達目標	目標1: 富山の歴史文化や産業・生活などの現状を学び、その特色を理解することができる。 目標2: 富山、とくに立山黒部の自然について学び、それらと生活や産業との関係を理解することができる。 目標3: 各分野の専門家の講義やフィールドワークを通して、富山の今後の地域づくりについて考えることができる。				
時間割(第2～15回)	1時限目: 9:10～10:40 2時限目: 10:50～12:20 3時限目: 13:10～14:40 4時限目: 14:50～16:20				
開講場所	(8/22、25)大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室1(Ciビル5階)、(8/26、27)富山県民会館				

授業計画

回	月日・曜日	時限	授業内容・講師	
第1回	8月22日(金) Ciビル5階 研修室1	1限(9:10～10:40)	9:10～9:30 受付(出席確認・資料配布) 9:30～10:00 学長挨拶「とやま地域学」で学んでほしいこと 富山国際大学学長 高木 利久(オンライン) 10:00～10:40 授業ガイダンス・日程等に関する説明 コーディネーター 助重 雄久	
第2回		2限(10:50～12:20)	富山の暮らしと豊かな水	富山国際大学名誉教授 尾畑 納子 氏
第3回		3限(13:10～14:40)	富山のクマ 変化する分布と生態	富山県立山カルデラ砂防博物館主任学芸員 白石 俊明 氏
第4回		4限(14:50～16:20)	立山黒部の自然とその多様性	富山県立山カルデラ砂防博物館学芸課長 飯田 肇 氏
第5回	8月25日(月) Ciビル5階 研修室1	2限(10:50～12:20)	祭りと古民家が繋ぐ、人、モノ、文化	越中祭青年会発起人 五十嵐 友輔 氏
第6回		3限(13:10～14:40)	城端人として生きる	城端蒔絵十六代 小原 治五右衛門 氏
第7回		4限(14:50～16:20)	体験型講義 富山の組子—組子細工を通じて、地域文化の継承と発展について考える—	株式会社河島建具 専務 河島 亜紀 氏
第8回	8月26日(火) 富山県民会館 304号室	1限(9:10～10:40)	知事と語ろう 富山の未来	富山県知事 新田 八朗 氏
第9回		2限(10:50～12:20)	データから見る富山の生活と産業	富山国際大学 現代社会学部 教授 大谷 友男
第10回		3限(13:10～14:40)	富山の観光は総力戦!	富山県観光振興局
第11回		4限(14:50～16:20)	富山の本気 —ファインダーで捉える富山の魅力—	写真家 イナガキヤスト 氏
第12回	8月27日(水) 富山県民会館 304号室	1限(9:10～10:40)	富山市街地の歴史をたどる(レクチャー)	富山市民芸館館長 坂森 幹浩 氏
第13回		2限(10:50～12:20)	富山市街地の歴史をたどる(フィールドワーク)	
第14回		3限(13:10～14:40)	富山市街地の歴史をたどる(グループ発表)	
第15回		4限(14:50～16:20)	講義全体のまとめ	富山国際大学 現代社会学部 教授 コーディネーター 助重 雄久

評価方法	受講状況や積極性(20%)、毎時限の課題(80%)をもって総合的に評価します。試験は実施しません。 ※各大学・高専の評価基準が異なるため、100点満点で採点した実点を各大学・高専に通知します。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

備考	・オムニバス形式で毎時限講師が異なるため、原則として各講師の授業の最後に質問時間を設けます。その他、休憩時間などを利用して質問などに応じます。ただし、授業を対話形式で行い、授業中に質疑応答の時間を設ける場合もあります。 ・開講学期、配当学年は各大学・高専の「学生便覧」等に掲載されている開講科目表を確認してください。
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------